

ぜんしゅりきょ

2011
6月
June

通巻68号

新事業を盛り込んだ平成23年度事業計画発表!!

第24回通常総会を広島で開催!!

平成23年5月17日(火)、ホテルグランヴィア広島を会場に第24回通常総会が開催され、会員73名、委任状参加者164名、合計237名が出席しました。

東日本大震災の影響で開催が危ぶまれていましたが、会員の熱意と中国地区の方々のご努力で開催にこぎつけることが出来ました。

業界の今後に向けた、調査研究を推進!

内田副理事長の開会宣言の後、この一年間に亡くなられた組合員及び家族、また東日本大震災で亡くなられた方々に対して全員で黙祷を捧げました。

さらに小堀賢一理事長が、東日本大震災で危ぶまれた総会が開催できたことへの謝辞に続き、仏壇公正競争規約の実現や商品知識の向上や顧客管理が充実しても、お仏壇には「物」としての役割以上の役目がある



総会で挨拶をする小堀理事長

平成23年度の 新事業計画を発表!

宗教用具業界をとりまく環境が相変わらず厳しい中、平成22年度事業報告では、経済産業省の支援のもと仏壇取引の公正化を目指した仏壇公正競争規約は、認定申請の直前まで進展したことが発表されました。



また、全日本仏教会や関連業界との共催事業としての花まつり事業の広報成果が報告され、さらに宗教用具業界低迷の原因や問題を分析し業界再生の方向性を提示した活路開拓事業の成果や、全国研修会の成功についても報告されました。

報告の中で、震災で影響を受けた北海道東北地区、関東甲信地区の2地区の理事より発言があり、宮城の2社が大きな被害を受けたこと、また関東甲信ではアンケートに回答した79社のうち3社は無事、13社に仏壇が倒れるなどの被害があったことが報告されました。

平成23年度事業計画では、委員会別に総務委員会の「明日のために」をテーマとする研修計画や広報委員会の花まつり事業を国民的行事にするための仏教会や関連業界との連携計画、正常化委員会の仏壇公正取引協議会への支援計画、NL部の「遣佛使」などの計画が承認されました。



総会が開催されたホテルグランヴィア広島



真剣に聞き入る大勢の組合員で熱気あふれる会場

議案は提案通り全会一致で承認され、盛会の裡に閉会しました。

【目次】

P1	通常総会
P2	役員メッセージ
P3	役員名簿
P4	総会特集
P5	ニューリーダー部総会特集
P6	公正競争規約
	事務局からのお知らせ

業界に大きな変革と新たな方向性を!!

全日本宗教用具協同組合の6名の役員の方々から会員の皆様に、業界の現状と将来に向けた今後の取り組みについてメッセージをいただきました。

親しみやすい全宗協



副理事長
井上 芳徳

この度の東日本大震災で被災された組合員に心よりお見舞いを申し上げますと共に行政・民間一体での一日も早い復興を祈念します。全宗協では総務・広報・事業・正常化・会員増強委員会、そして、ニューリーダー一部会が中心となり、平成23年度も引き続き事業計画を着実に実行します。更に、全国9地区協議会でも組合員相互の親睦・情報交換・研修会等も積極的に進めています。今後も事業への参加の向上と一層の加入促進をはかるために、ホームページの充実や業界全体の信頼回復を目指し、魅力ある活動を展開します。

次のステップをめざして



理事長
小堀 賢一

一時は開催が危ぶまれた総会でしたが無事に終えることができ中国地区の方をはじめ関係者に感謝申し上げます。

現在推進中の公正競争規約については今年度に消費者庁の認定を受ける可能性が強く、これにより業界の正常化が期待できます。しかしこれは、仏壇を物として販売する場合には有用ですが、消費者への仏壇の役割という意味では更に次のステップが必要です。

同じく昨年取り組んだ活路開拓事業は、業界の将来の方向性を示しています。この二つの前年の事業が今後に大きな変革をもたらすでしょう。

役員
Message

自粛経済状況の仏壇店は
消費者に真面目に
対応が大切…



副理事長
内田 長祐

経済規模縮小の現在、耐久消費財（仏壇）の販売価格の下落と販売不振、今こそ、真面目に情報を開示し、お客様の要望を真剣にとらえ向き合う真心込めた思いやりの心の対応が大切です。仏壇店本来の役割を忘れ、価格・値引・偽りの品質表示等が先行する販売方法は、祖先崇拝の日本の心を破壊し、将来の業界倒壊に繋がる懸念・全宗協の組合員が一致団結し、天災・原発事故影響の自粛経済不況を乗り越え、未来の業界を担う若手経営者に繋がりたい、愛そして、真実の心、先祖の崇拝、忘れかけた日本の伝統を、美しき思い出を大切に考え、職業を通じて精神文化育成の社会貢献を考える業界を願ってます。

御礼とご挨拶



副理事長
三村 博昭

先般広島で開催されました第24回通常総会に、多数の組合員のご参加をいただき誠にありがとうございました。一時は中止・延期等の懸念もありましたが、皆様のご協力のおかげで予定通り全てのスケジュールが無事消化できましたことに感謝申し上げます。昨年度は、「宗教用具業界再生の年」と位置づけて様々な取り組みをしてまいりました。なかでも全仏連と手を携えて仏壇公正取引協議会準備委員会をたちあげ、公正競争規約の策定に目途がついたことは、十分とはいえないにしてもある程度の成果があったと思います。今年はさらに内容を充実して業界に対する確たる信頼を得、業界の発展に繋がることを期待します。

機能する事務局を目指す



専務理事
西春 貞男

会員の皆様、専務理事を勤め8年目に入りました西春貞男です。

小堀理事長以下、4名の副理事長を補佐し、組合運営に微力ながらお手伝いをしてまいりました。しかしながら、今までは公正取引協議会発足準備に追われ、何かとご迷惑をお掛けしていましたが、事務局ですが、今期の目標を「機能する事務局」としました。無駄なメール・FAXは送らないように致します。皆様から頼られる存在になるべく改善してまいります。どの様にご意見でも結構ですから、事務局に頂けましたら幸甚でございます。どうぞよろしくお願い致します。

これからの全宗協



副理事長
池田 典明

副理事長という大役をお引き受けさせていただきました北越地区の池田でございます。又全宗協の事業母体である事業委員会委員長もさせて頂く事と相成りました。

さて、宗教用具業界を取り巻く環境は年々厳しさを増す中、突然発生した東日本大震災、とりわけ東北地方三県の会員方々には甚大な被害が発生し、又関東地区の方々にも少なからず被害があり、この書面をお借りして心よりお見舞い申し上げます。

昨年7月より推し進めてきた活路開拓調査実現化プロジェクト報告書が本年2月の研修会で詳細の報告がなされました。この報告書は私たち業界の道標（ロードマップ）となることを、確信しています。全宗協会員一人々が知恵を出し合って頂く事が素晴らしい組合運営に繋がって行くのではないかと思いますので会員各位の御協力をよろしくお願い致します。

《平成23年度 役員名簿》

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	小堀 賢一	常任理事	今山 秀人	理事	小長井 由朗	理事	松谷 和美
副理事長	井上 芳徳	常任理事	井ノ口 敬三	理事	濱島 賢祐	理事	田戸 孝雄
副理事長	内田 長祐	理事・相談役	安田 松慶	理事	小室 健次郎	理事	今浦 公博
副理事長	三村 博昭	理事	丸屋 輝夫	理事	河田 栄治	理事	森 正
副理事長	池田 典明	理事	升谷 昇平	理事	林 恒男	理事	岩佐 武彦
専務理事	西春 貞男	理事	保志 康德	理事	坂 新太郎	理事	上林 良得
常任理事	八田 守立	理事	松野 智幸	理事	吉田 光宏	理事	塚本 弘喜
常任理事	前田 平成	理事	滝田 雅敏	理事	神戸 良司	理事	江頭 那将
常任理事	木本 隆久	理事	川本 恭央	理事	岸本 光史	理事	白川 十郎
常任理事	菱田 孝行	理事	坂田 晴義	理事	中田 信浩	理事	東 純一
常任理事	橋本 晃一	理事	山田 宗宏	理事	中造 和夫	監事	福井 明夫
常任理事	佐倉 弘	理事	廣川 勝彦	理事	山中 誠人	監事	本保 実
常任理事	高山 正	理事	山口 敏雄	理事	濱田 博邦	監事	山本 晴彦

講演

「暮らしと仏教
—日本人の心の形」

上山 大峻 師



プロフィール
1934年生れ。龍谷大学名誉教授。元龍谷大学学長、退任後も本山で数々の要職を歴任。山口県長門市の出身で、金子みすゞとは同窓生。

写真提供：宗教工芸社

八十はそれを「心のふるさと」と評しました。浄土真宗が盛んな仙崎の生まれということから、仏教的思想が入っていると想像する詩が多く見受けられます。日本人が経済的繁栄の中で切り捨てて来たものがみすゞの詩にはあるのです。今般の東日本大震災の中で発揮された日本人の「和の精神」。その譲り合いの心が仏教の教えなのです。私たちが「豊かな心」がいかに大切であるかを、みすゞの詩篇を通して気づき取り戻すことが、今求められているのではないのでしょうか。皆様も仏壇・仏具という商いを通して、仏教が相続されていくように、お客様に伝えていただきたいと思います。

今日は金子みすゞのことをお話ししたいと思います。金子みすゞは本名を「金子テル」といいますが、私の高校の先輩に当りますが、彼女のことを知ったのは町の広報誌に載った「大漁」という詩がきっかけでした。この詩はイワシの命と人間の命を同じに見ている。キリスト教社会ではそういう発想は絶対に出て来ません。これは大変なことを詠んでいると感じて、それから金子みすゞの本を探し始めました。普通の発想を自然に詠んでいるのですが、その自然の想いの中に仏教の思想が入っている。それを「土徳」と言っています。地域社会が持つ考えやその家庭に伝わる考え、「精神風土」ということです。感謝しながら生きていく精神風土が詩に自然に出ている。それがこの「大漁」の詩です。西条

総会特集

通常総会の後、龍谷大学名誉教授の上山大峻師の講演会とコール・スガンディによる「仏教賛歌」等のコーラスが催され、仏教の教えに楽しく触れる事が出来ました。

Chor Sugandhi



懇親会で高山正常任理事による素晴らしいジャズ演奏

仏教の教えをやさしく身近に唄うコール・スガンディ。「仏教賛歌」と「金子みすゞの八つのうた」の豊かな世界に触れることができました。

宮島

オプショナルツアー



5月18(水)に総勢24名で、世界文化遺産の宮島を見学しました。当日はお天気にも恵まれ、海に浮ぶ大鳥居や独特の色合いの厳島神社、荘厳な大聖院も素晴らしく、また、めったに見られない舞楽も観賞出来て、楽しく充実した1日でした。



日本三景 安芸の宮島

全宗協中国大会ゴルフコンペ開催!

ゴルフコンペ

全宗協中国大会ゴルフコンペは、雨の全く心配の無い晴天の中、千代田OGMゴルフ倶楽部で開催いたしました。

スコアの乱高下は多少あった様ですが、参加者全員和気あいあい親睦を深め、楽しい1日を過ごす事が出来ました。

〈幹事 株式会社京屋 田戸孝雄〉

優勝	石井 忍
準優勝	佐倉 弘
3位	今浦 公博



ニューリーダー部 総会特集

通常総会に先立ち、ニューリーダー部の通常総会が開催されました。本年度は、「我ら、平成の遣佛使」事業を軸に知識・経験・情報の共有を目指し、更なる活動を推進します。

通常総会に先立ち、ホテルグランヴィア広島「スカイバンケット曙光」を会場にNL部の通常総会が開催されました。

前田部長の挨拶の後、議事に移り、「平成22年度事業報告(案)」及び「同事業決算(案)」の審議が行われました。事業報告の中で問題点として、新会員との懇親も図られ部員拡大にも効果はあったが、出席者が低調だったので、今後は如何にして出席率を上げられるかが課題であるとの指摘がありました。

引き続き「平成23年度役員(案)」「同事業計画(案)及び予算(案)」が審議され、全て全会一致で承認されました。

さらに、本年度のメイン事業「遣佛使」の計画発表があり討議されました。これは沖縄・屋久島・京都・四国方面の五か所を数名ずつチームで訪問し、各地の風俗や信仰を調査して報告するという内容の研修事業で、六月から募集を開始して、本年十一月から来年一月にかけて実施。結果をまとめてプレゼン形式で発表し、知識や経験・情報を共有していく有意義な研修です。コース等も含め、全員で熱心に話し合われました。

最後に本年度の会費についてのお願いがあり、盛会の裡に総会を終了しました。



遣佛使 ～知識・経験・情報の共有～

ニューリーダー部 部長 前田 平八



このたびの東日本大震災で被災された方々へ謹んで地震災害のお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、NL部の今年度は今まで築き上げてきた部員相互の信頼関係を最大限に活かし、また日頃時間的に地理的に参加が適わない部員の方々も参加していただけるように、NL部を幾つかの班に分け、日本国内に分散して各地で今も日本の根底に流れる「信仰の心」をその土地の風習等を踏まえながら直に肌で感じて、これからの組合活動、個々の生活、商活動に活かしていければと考えております。

その昔、日本に大陸の文化・文明・仏教を取り入れる為に行われた遣唐(隋)使事業にちなみ、「平成の遣佛使」としてNL全部員の為、そして各々自分自身の為、知識・経験・情報を共有し合い、この1年間に例年以上の研鑽を積めるような実のある研修に出来るようにしたいと考えております。

～ヒロシマ原爆語り部のお話を聞いて～

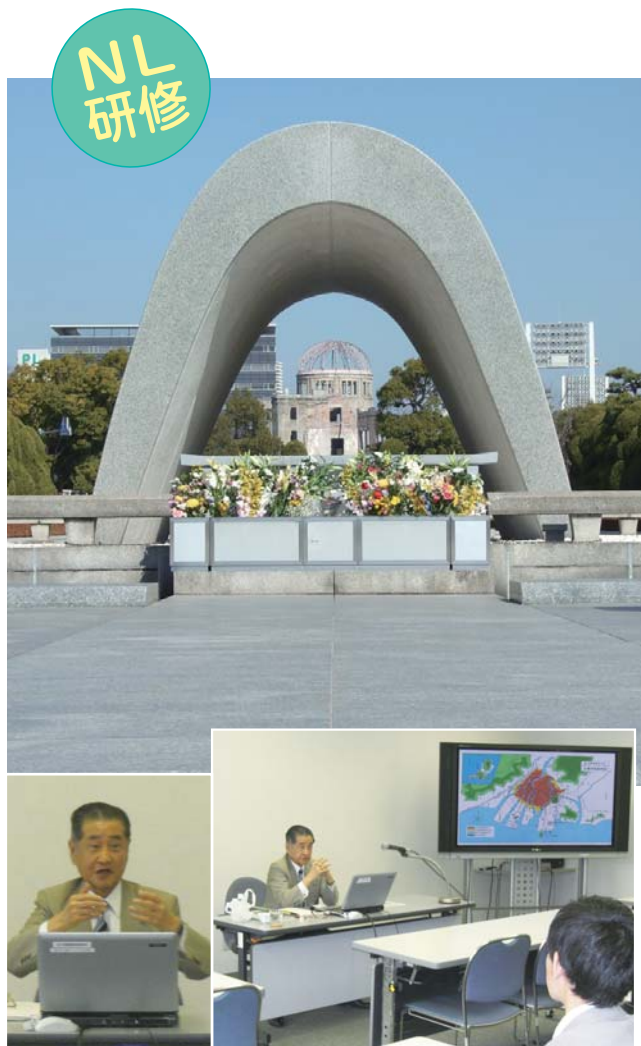
ニューリーダー部 副部長 小森 隆司

広島での通常総会の翌日、我々NL部は研修として、広島平和記念資料館にて原爆語り部の方(奥田榮さん)から、貴重なお話を聞かせて頂きました。

奥田さんは、1945年当時小学校3年生で、被爆時は爆心地から950mの自宅で、奇跡的に助かりました。

しかし、他の家族6人は皆亡くなりました。目の前にいたお兄さんは家の下敷きとなり焼け死に、翌日お父さんが白骨化した亡骸を見つけたこと、お母さんを見舞いに行き、上半身真黒でやけどで腫れあがった姿を見てショックで声も出なかったことなど、ここには書ききれませんが、原爆のもたらす凄まじい熱線と爆風が、一瞬にして日常生活と家族を奪ってしまったことを改めて思い知りました。

奥田さんが何度も言われていた「戦争は絶対やってはいけない」という言葉を心に刻み、今回の東日本大震災と原爆事故についても併せて考えさせられた、意義深い研修でした。



写真(上)：原爆ドームと慰霊碑

写真下(左右)：「戦争は絶対やってはいけない」と語る奥田榮さん

全宗協の皆様方には、仏壇公正取引協議会設立に向けて多大なご支援を賜り、有難うございます。お陰をもちまして、5月末現在の準備委員会登録社数は860に達しました。

最初に全国説明会以降の経過をお話しますと、2月から4月にかけて経産省で「仏壇産業の現状と今後のあり方に関する研究会」が開催され、学識者、消費生活指導員、材木業者などを含めたメンバーによって仏壇に関する公正競争規約案が検討されました。細部については「ワーキング・グループ」で白熱した議論が戦わされましたが、その間3月11日には経産省内で震災にも遭遇しました。5月13日には最終報告書が完成し、発起人会へ呈上いたしました。

一方準備委員会のほうは、第1回発起人会が3月9日に開催され、27名の発起人の中から代表として小堀氏を、また副代表として若林氏、久保氏、長谷川氏、浜田氏の4人が選ばれ、専務には私が就任いたしました。

その後、発起人会では1日6時間にも及ぶ真剣な討議が交わされ、5月26日の第4回発起人会で最終的な規約案が成立しました。

今後の予定は、消費者団体や関連業界へ規約について説明する「表示連絡会」を6月14日に開催し、その後消費者庁へ申請をする運びとなります。

規約は、消費者目線へのシフト

正常化委員長
森 正



消費者庁が設立されてから公正競争規約の申請は仏壇が初めてのことですが、「パブリック・コメント」といわれる制度により1ヶ月間一般の方々の意見を聞く期間が設けられています。

その間、消費者庁によって法的な面からも検討され、問題がなければ認可が下ろされます。

認可が下りれば、協議会に参加する企業は品質・産地表示に対して規約の定めに従う義務が生じますが、成立後1年間の施行猶予期間を置きますので、その間に様々な準備をしていただくことができます。

協議会へ参加していただくメリットは、「公正取引の会員証」によって店頭やカタログ、チラシなどでアピールでき、消費者への信頼を高めることができます。反対に、協議会へ不参加の企業でも何かトラブルがあった場合には規約に基づいて裁定されることになり、規約の効力は業界全般に及びます。

規約成立後は、商いの視点を消費者目線へとシフトすることが重要になってきます。「消費者から信頼される業界」を構築していくことが業界再生への道であり、次代への大切な橋渡しになると思います。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いします。

事務局からのお知らせ

1. 当面のスケジュール

- 平成23年10月18日(火)・19日(水) 予定 (於:京都メルパルク) 宿泊研修会

2. 組合員数 平成23年6月7日現在 376名

- 新規加入者 平成23年4月1日以降
- ①(株)仏壇の大野屋 山田 宗宏 様 (4月28日)
- ②(株)太田屋 太田 博久 様 (5月9日)
- ③(有)中村石材店 中村 幸弘 様 (5月9日)
- ④(有)篠田仏具店 篠田 久江 様 (6月7日)

3. 組合関係者の訃報 (平成23年3月2日～平成23年6月5日)

- (阪奈兵和地区)
- (有)黒澤商店 (黒澤公雄様) 代表取締役会長 4月14日 71歳 (東海地区)
- (株)岡林 (岡林康夫様) 会 長 6月5日 80歳

4. その他連絡事項

注文受付中です!!

(注文される方は事務局までご連絡下さい)

- ・小冊子再注文
- ・仏壇・仏具ガイダンス 組合価格 ¥7,500(税込)
- ・お仏壇の日の幟追加注文 1枚 ¥800(税込)
- ・父母恩重經 1冊 ¥84(税込)

◆ 仏壇公正取引協議会準備会会員募集は、未だ受け付けています。

◆ 仏壇の製造・販売業を営む方で、未登録の組合員の方は、早期の登録をお願い致します。